

# 意見書

この定例会では、次のとおり意見書案3件が議員により提出され、審議の結果、それぞれ原案のとおり可決し、内閣総理大臣ほかに送付しました。

## 中小企業の当面する金融上の困難を解消し、「金融アセスメント法」の制定を求める意見書

現在、政府が進めている「不良債権の最終処理」は、連鎖倒産や失業者の激増などが予想され、地域経済や中小企業経営への深刻な影響が危惧されている。金融庁は「金融検査マニュアル別冊」を出し、金融機関の検査において中小企業に配慮する具体事例を例示している。中小企業に対しては、中小企業向けの新たな「金融検査マニュアル」が作成・運用されない限り中小企業への貸し出し抑制の危惧は払拭されない。

また、ペイオフ解禁は、2005年4月からと2年延期されたが、ペイオフの対象となっている地方自治体の公金預金は、地域住民の生活と経済に直結した資金であり、中小企業向け制度融資の原資ともなっている。ペイオフ解禁による公金預金保護のための資金移動は、地域金融機関への不安をあり、地域経済の混乱を招く恐れがある。

さらに、金融問題を根本的に解決するためには、地域と中小企業への円滑な資金供給に努力する金融機関を公的に評価、情報の開示をし、地域と中小企業との共生共存をはかる金融機関として支援し育て、企業への融資を物的担保優先や連帯保証による割合を減らし、中小企業の潜在能力や事業性を重視する融資に拡大するとともに、貸し手と借り手の公正な取引関係の確立を目指すことを目的とする金融アセスメント法の制定が求められている。

よって、国においては、金融アセスメント法を早急に制定するとともに、次の事項の方策を早急に講じるよう強く要望する。

### 記

- 1 地方自治体の公金預金は、固定性、流動性を問わず、ペイオフの対象から除外し、全額保護する措置を早急にとること。
- 2 不良債権の最終処理にあたっては、中小企業と地域経済への影響を最小限とする方策を講じること。
- 3 金融庁は、地域と中小企業の実態にあった「金融検査マニュアル」を作成し、中小企業に適用すること。

提出先 ○衆議院議長 ○参議院議長 ○内閣総理大臣  
○総務大臣 ○法務大臣 ○財務大臣  
○厚生労働大臣 ○経済産業大臣  
○金融・経済財政大臣

## 北関東自動車道建設凍結に反対する意見書

道路関係四公団民営化推進委員会の中間整理が、去る8月30日内閣総理大臣に対して報告された。この中で、「国土交通大臣及び日本道路公団は、直ちに、高速自動車国道の施行命令の全面執行について、凍結・規格の見直しを含む再検討を行う。」とされている。

桐生市にとって北関東自動車道は、生き生きとした特色のある地方都市圏を形成するための大動脈として、極めて重要な基幹施設である。

よって、国においては、本路線の建設を凍結することなく整備促進を図られるよう、下記事項について特段の配慮を賜りたく強く要望する。

### 記

- 1 北関東自動車道の建設を工事進捗率や採算性のみで、凍結することなく早期の完成を図られたい。
- 2 北関東自動車道の沿線である群馬県東部地域は、北関東を代表する工業集積地であり、本路線の開通を予定した新たなまちづくりが、随所で展開されている。こうした実情を把握し、国においては、責任を持って整備を継続されるよう強く求める。
- 3 高速自動車道路は、ネットワーク化により、初めて絶大な効果が発揮される。そのために、常磐・東北・関東・上信越自動車道等に繋がる「関東環状道路」の形成路線として、北関東自動車道の整備を国は着実に実施されたい。

提出先 ○衆議院議長 ○参議院議長 ○内閣総理大臣  
○財務大臣 ○国土交通大臣

## 道路整備に関する意見書

群馬県は、1人当たりの乗用車保有台数、自動車免許保有率が全国1位であり、自動車が県民の日常生活に欠くことのできない移動手段になっている。

このため、桐生市においても主要幹線道路を中心に著しい交通渋滞が発生し、市民生活や経済活動に大きな影響を与えている。一方、山間地域の道路では、異常気象時には、土砂崩れ、地滑りなどの災害が発生する恐れがあり、通行を制限しなければならない区間が数多くある。

また、歩行者、自転車利用者、障害者などの、全ての人々が快適、安全、安心に利用できる道路環境の整備が強く求められている。

このような状況から、道路予算を確保し、今後とも引き続き道路整備の推進が必要である。

よって、国におかれては、桐生市の特性や事情を考慮した道路整備が推進できるよう、次の事項について特段の配慮を願いたく強く要望する。

### 記

- 1 桐生市にとっては、道路整備のための長期的、安定的な財源確保が今後とも不可欠である。このための必要な施策を講じられたい。
- 2 首都圏の都市がそれぞれ特色ある発展をするために、北関東自動車道の建設を凍結することなく早期完成を図られたい。
- 3 広域幹線道路である国道50号の未整備区間である前橋笠懸道路の早期四車線化整備を図られたい。
- 4 桐生市の調和のとれた発展と近隣都市との均衡ある道路ネットワーク整備推進のための支援を願いたい。

提出先 ○衆議院議長 ○参議院議長 ○内閣総理大臣  
○財務大臣 ○国土交通大臣